

雑誌掲載のご案内

2019年9月に発刊された週刊朝日MOOK(朝日新聞出版)『さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん』最新号の「頼れる在宅療養支援診療所・病院」に当院の記事が掲載されました。

頼れる 在宅療養支援診療所・病院



理事長 石賀 丈士

いしが・たけし ●2001年、三重大学医学部卒業。同大学医学部附属病院第二内科、山田赤十字病院(現・伊勢赤十字病院)、しもの診療所所長などを経て、09年、いしが在宅ケアクリニックを開設。

〒512-8048
三重県四日市市山城町770番2
TEL.059-336-2404
FAX.059-336-2405
http://www.ishiga-cl.com

「四日市モデル」を構築し地域の在宅医療を活性化
三重県四日市市に位置し、常勤医8名体制のいしが在宅ケアクリニック。2009年に同院を開設した石賀丈士理事長は、地域の在宅医療に自身が構築した提供体制を取り込むことで、新たな風を吹き込

んでいる。その軸となるのが、患者の医療依存度に応じた分担制だ。同院では主に重度の患者を診て、軽・中度の患者は開業医が診る。そうすることで、両者の共存を図るとともに、「地域全体の在宅医療の活性化」を実現させてきた。「この10年で、開業医の先生による在宅医療への参入も増えています」と、石賀

医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック
「四日市モデル」考案者として
年間384人の在宅看取りを支え
中部・関西圏の在宅医を育成する

質理事長は語る。「四日市モデル」と呼ばれるこの仕組みは、全国から注目を集めており、多くの医師が視察に訪れるという。
中部・関西圏の在宅医の育成拠点を目指す新社屋

その結果、同院は地方にありながら18年7月〜19年6月だけで、384名の看取りを支えた。それでも石賀理事長は、「患者さんや」家族が望む在宅での看取りの前提には、痛みや呼吸困難のない穏やかな日々があり、緩和ケアの技術が伴わなければ信頼を得ることはできませんと語る。そのためには、正しい診療も看取



2020年2月オープン予定の新社屋(完成予想図)



開放的で洗練された新社屋内「シリウスキッチン」(完成予想図)

りもできる在宅医が必要であると石賀理事長。中部・関西圏の在宅医の育成拠点を作るべく、現在、道路を挟んだ向かいに延床550坪の広大な新社屋を建設中だ(20年2月竣工予定)。医師の育成はもちろんだ、地域の訪問看護師やケアマネジャーなどによる勉強会、これまで看取ってきた患者の遺族の交流会などの場としても、無償で提供する予定だという。クリニックというよりもおしゃれなカフェのような「シリウスキッチン」は、地域交流の場となるだろう。「患者さんご家族が世代を超えて頼りにしてください」

看護師だより

今年100歳を迎えられたSさんです。小学校の頃より絵がお好きで、60歳から念願の絵画の道に進まれました。その後約30年間、たくさんの作品を描かれ、90歳には個展を開かれました。(写真の絵画のサイズ: 145.5x112.0cm)

繊細さと華やかさ、凛とした女性の美しさ、Sさんのお人柄を作品から感じます。洋裁・デザイナーという経験があり、センスの良さと表現力などが素晴らしいと思います。訪問時には、玄関や廊下に飾られた作品が、私たちを出迎えてくれ、毎回楽しませていただいています。

最近では、眠っておられる時間が多いご様子ですが、栄養ドリンクをご自分のペースで飲まれ、TVでお好きなテニス観戦なども楽しまれています。訪問看護師さんに手伝っていただいて、窓からの景色を満喫されることもあるようです。

Sさんの素敵な笑顔に、私たちは元気をいただきます。どうぞこれからもまわりのみなさんに支えられ、いつまでも穏やかに過ごしてくださいね。



ケアマネだより

今回は訪問介護でお世話になっている織りがみさんをご紹介します。

私たち織りがみは、訪問介護のさまざまなニーズにお応えするため、平成27年度より『定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス』を導入しました。このサービスは「1日複数回の短時間訪問」と「緊急時の随時対応」を組み合わせたものです。従来の訪問介護には、訪問回数や時間設定にルールや制限がある一方、定期巡回サービスは「必要な時、必要な分だけの」サービスを「月額定額制(※要介護度別)」で受けることができます。

より手厚いサポートを受けたい人、普段お元気で最小限のサポートだけで良いけれど有事の安心も欲しい人、どちらにもメリットがある仕組みといえます。支援にあたり、日々『あんたらが来てくれるで安心やわ』と喜んでいただけることに何よりも嬉しさを感じています。医療と介護の連携を高め、今後もより質の高いサービスを提供できるよう、スタッフ一同努めてまいりますのでよろしくお願い致します。



◀ 織りがみ・北ステーション 059-358-7556 織りがみ・南ステーション 059-320-1133 ▶